

公益社団法人 上伊那教育会 第5回 総会

期日：令和7年3月4日（火） 会場：上伊那教育会館講堂

- 1 開会
- 2 上伊那教育会の歌『仰望』
- 3 会長挨拶
- 4 信濃教育会第28回教育研究論文教育実践賞受賞贈賞式
- 5 報告
 - (1)信濃教育会常任委員会 報告
 - (2)信濃教育会臨時総会 報告
 - (3)公益目的事業を行う外部団体等への助成金について
- 6 議事
 - (1)第1号議案「令和7年度上伊那教育会事業計画（案）」の承認に関する件
 - (2)第2号議案「令和7年度上伊那教育会収支予算書（案）」の承認に関する件
 - (3)第3号議案「令和7年度上伊那教育会資金調達及び設備投資の見込み（案）」の承認に関する件
- 7 協議
 - (1)令和7年度当初の会員募集について
- 8 諸連絡
 - (1)「令和6年度 研究調査部研究のまとめ・人権教育実践事例集」について
 - (2)令和7年度教育関係年間計画について
 - (3)令和7年度教育会各種委員会推薦について
 - (4)令和7年度役員選挙について
 - 役員等候補選出委員の確認
 - 年度当初の選挙事務について
 - (5)令和7年度教科等教育研究会加入について
 - (6)令和7年度会員名簿の提出について
- 9 議長退任挨拶
- 10 閉会の言葉



赤羽 隆 会長



総会の様子

赤羽 隆 会長 挨拶

皆さんこんにちは。代議員の皆様には、季節外れの降雪の中、また年度末に向かいご多用の中、第5回総会にご参集いただきありがとうございます。3つのお話をいたします。

1 最近の情勢について

3月3日から教育会連絡システム「ケルン」の切り替わりとなりましたが、教育会サーバの不具合のため3日10:30からおよそ24時間にわたってストップしておりました。ご迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。普段は何気なく使っている「ケルン」ですが、改めて、自由に連絡ができることのありがたさを痛感しました。それとともに、管理してくれている方々のご尽力に感謝したいと思います。

続いて、中学校の栞についてです。今年度は、3年に一度の小学校栞委員会の活動の年でしたが、片桐委員長はじめ委員の皆さんが各校に丁寧に調査してくださり、今後は更新せず、データをPDFとして「ケルン」内に保存し自由に活用できるようにしていただきました。中学校の栞についても同様に対応していく方向で、常任委員会で検討し理事会で決議いたしました。したがって、来年度の委員募集はせず、データを「ケルン」に

保存するよう進めますので、ご承知おきください。その他、各教科のまとめに続いて、人権教育実践事例についても本年度から同様の扱いとなっていますので、会員の皆さんに積極的に活用していただければ幸いです。

ご存じの通り、本年度末をもって川島小学校が閉校となります。過日、各校に「ふるさと川島で学ぶ」という閉校記念誌も配られました。150年の歴史を感じると共に、写真も豊富で、今の子どもたちの学びや思いも伝わってくる素敵なものでした。校内で共有しながら、一つの学校が閉校するという重みを、皆さんで共有したいと思います。少子高齢化が進む今、決して他人事ではありません。川島小の閉校に思いを馳せたいところです。

2 一年を振り返ってのお礼

今日は、本年度最後の総会ですので、このメンバーで歌う上伊那教育会の歌「仰望」も最後となりました。歌う気持ちを奮い立たせてくれた指揮者の田畑先生、伴奏の武田先生にこの場をお借りしお礼申し上げます。また、全ての代議員の先生方には、校内での連絡調整や本総会への参加に加え、5月の教育会総研修会「仰望の日」もそれぞれの役割で支えていただきました。本当にありがとうございました。

さらに、教育会の委員会活動にも多くの皆様に支えていただきました。三大研修は委員長として、他の委員会では副委員長として、先頭に立って活躍してくださった方もいました。自己推薦等で来年度の委員会に携わってくださる方もいます。様々な面で研修を支えてくださっている姿、感謝の念に堪えません。

3 教育会のこれからについて

働き方改革の推進やコロナ禍により、私達は「負担感」をより意識するようになりました。ただ、子どもたちと向き合う教育という営みは、うまくいかないことの連続で、負担感を減らすための効率を上げるという視点だけで全てが解決できるわけではありません。日々変わる世の中に合わせて、学んでいく姿勢が求められます。研修への向き合い方を自らに問うていく姿勢も必要です。一人では難しいことも、仲間となら乗り越えられることもあります。そのような願いも込めて、本年度のテーマを「集い、語り、高め合う～学びにワクワク感を～」としてきました。教育会という組織を守ることが先にあるのではない、研修をして高めたい気持ちが先にあることを肝に銘じ、これからの教育会をささえていただくよう期待申し上げ、挨拶いたします。

信濃教育会第28回教育研究論文教育実践賞受賞贈賞式

赤羽会長から信濃教育会第28回教育研究論文教育実践賞「入選」を受賞された2名、1団体の紹介があり、それぞれに表彰が行われました。そのあと、受賞者からスピーチをいただきました。

<個人の部> 入選

○辰野町塩尻市小学校組合立両小野小学校 吉越 友唯 養護教諭

タイトル： 自分の健康に主体的に向き合う子供の育成を目指して

○飯島町立飯島中学校 鈴木 雅美 教諭

タイトル： 「教えない授業」生徒が自ら学びをデザインする授業を目指して
～自分でToday's goalを考え、授業をデザインする英語の授業～

<グループの部> 入選

○伊那市立伊那中学校 伊那中学校マイチャレンジ担当職員 代表 小山美香子教諭

タイトル： 探求することは成長すること～伊那中マイチャレンジの実践から～



吉越友唯 先生



鈴木雅美 先生



小山美香子先生

報 告

- (1)信濃教育会常任委員会 報告 (赤羽会長)
- (2)信濃教育会臨時総会 報告 (登内常任)



議 事

- (1)第1号議案「令和7年度上伊那教育会事業計画（案）」の承認に関する件
会長から提案、各部長、事務局長から説明がありました。採決の結果、承認されました。

上伊那教育会 令和7年度 テーマ及び事業の方向と重点 ※議案書より抜粋

＜テーマ＞ 共育・協育・響育 ～共に協力し響き合って育つ～

＜事業の方向と重点＞

柱1：会員同士のつながりを作り、今日的な課題についても学べる場をつくる。

柱2：終戦80周年を機会に教職員が戦争の史実と平和教育について学ぶ機会をつくる。

柱3：公益性の高い活動を継続し、会員との繋がりも積極的に進める。

- (2)第2号議案「令和7年度上伊那教育会収支予算書（案）」の承認に関する件
事務局長から説明がありました。採決の結果、承認されました。
- (3)第3号議案「令和7年度上伊那教育会資金調達及び設備投資の見込み（案）」の承認に関する件
事務局長から説明がありました。採決の結果、承認されました。

協 議

令和7年度当初の会員募集について、各校の取組や新たな工夫等を小グループで意見交換し、代表して3名の代議員に発表していただきました。

＜出されたご意見＞

- 会費のこともあり、今まで声をかけてこなかった先生がいることに気が付いたので、そういう先生方にも声をかけていきたいと思います。
- 代議員の方から積極的に声をかけていくこと、新たに上伊那にいらした先生方にはこの会の意義を直接伝えながら勧誘していくことについて意見が出された。また、入会するメリットについても直接お伝えしていきたい。若い先生方は「入会するものだ」という一方的な言葉がけだけではなかなか気持ちよくは入会してくれない。「直接声をかけながら」というところを大事にして入会者を増やしていきたい。
- 今年、新任者の集まっているところに直接行って満面の笑みで入会をお願いしたところ、多くの先生方が入会してくれた。やはり最初の時期に直接お願いしていくことが大事だと思う。



諸連絡

- (1) 「令和6年度 研究調査部研究のまとめ・人権教育実践事例集」について 【佐々木常任】
- (2) 令和7年度教育関係年間計画について 【橋場幹事】
- (3) 令和7年度教育会各種委員会推薦について 【保科幹事】
- (4) 令和7年度役員選挙について 【有賀常任】
 - 役員等候補選出委員の確認
 - 年度当初の選挙事務について
- (5) 令和7年度教科等教育研究会加入について 【小松幹事】
- (6) 令和7年度会員名簿の提出について 【藤澤事務局長】

議長退任挨拶

今回の総会をもって1年間議事を進行してきていただいた議長団が退任となりました。1年間、丁寧な議事運営を行っていただいたお二人に心より感謝申し上げます。

議長：田中 由里代議員(西春近北小)
副議長：江口 貴昭代議員(赤穂南小)



松崎 善幸副会長 閉会の言葉



年度末のお忙しい中、また降雪で足下の悪い中を、本年度最後の総会にご参集いただき、ありがとうございました。

本日も紹介がありましたが、信濃教育会研究論文では、多くの個人、グループに応募いただき、更に上伊那から入選が出ました。大変嬉しく思います。ご参加いただいた学校や先生方に心から感謝申し上げます。ぜひ各校でよろしくお伝えください。

今年度上伊那教育会は、「集い、語り、高め合う～学びに“ワクワク感”を～」のテーマのもと、全ての事業を成功裏に終えることができました。これも会員に呼び掛けたり、参加しやすいように支えたり、たくさんご尽力いただいた代議員の皆様のおかげであると、大変ありがたく思っております。

また、議長の田中由里代議員、副議長の江口貴昭代議員には、1年間総会を丁寧に進行していただきました。ありがとうございました。毎回、指揮をしていただいた田畑淳子代議員、ピアノ伴奏をしてくださった武田良美代議員にも感謝申し上げます。ありがとうございました。今日も上伊那教育会の歌「仰望」を気持ちよく歌うことができましたが、このメンバーで歌うのも今日が最後かと思えますと、今日の雪は、「なごり雪」になるのかと感じました。

さて、今日は来年度の事業計画等々をご承認いただきました。ありがとうございました。上伊那教育会では、日々子ども達の前に立つ私たちが、共に協力し、そして響き合って成長していけるよう、様々な教育会事業を来年度も進めていきたいと思っております。今年度同様に教育会の諸事業へご協力をいただけますようお願い申し上げます。そして、本日協議もしていただきましたが、一人でも仲間が増えるようにご尽力をお願いいたします。

だいぶ日が長くなって参りましたが、それとは関係なく、気ぜわしい3月です。この後は、どうぞ安全運転でお気をつけてお帰りください。以上、関係する全ての皆様にお礼申し上げ、閉会の挨拶といたします。ありがとうございました。



上伊那教育会からのお願い（入会案内）

**上伊那の教育を
会員として支えてください**

上伊那教育会は、教職員の資質向上を図り、地域社会の発展に貢献する教職員が中心となって組織する公益社団法人です。先輩方が築いてきたよき組織を大切に、子どもたちに未来を生きる力をつけていきましょう。

【令和7年度テーマ】

共育・協育・習育 ～共に協力し習き合って育つ～



上伊那教育会の基本理念

- ・はじめに子どもありき
- ・限りなき土着性の追求
- ・たえまぬ教師の研鑽

公益社団法人 上伊那教育会
伊那市荒井 3500 番地 1-401
<http://www.kamiina.jp>
edu@kamiina.jp

主な事業概要

- 1 塾校研修事業
研究大会、研修講演会、教育研究大会、研修組合、研修講座、会議旅行等の事業を行うことで教職員の資質向上を図る。
- 2 児童生徒の成長事業
児童生徒の学力の向上の成果を広く地域に公開した発表会や展示会を開催したりすることで、地域文化の向上及び児童生徒の心身の健全成長を図る。
- 3 郷土研究事業
教育会所属文化財の調査・研究、郷土産産文化財の発掘・収集、上伊勢郡の灯台を題材とした研究、児童生徒や地域の方を対象とした体験研修事業の実施。
- 4 会員共済事業
会員の入院に対する補償や災害時の給付給付を行い、会員の「安全・健康」を図る。

入会手続きの方法

4月当初に各校で、入会の意思確認を行います。

会費

正規教員 給与⑧/10

再任フル 5/1000

常勤講師 3/1000

合計4巻は月間5巻、月収(1~2)月 200円

离休者·休職者 会費免除

昨年度の会員数 1120 名

授業研修会

授業研究委員会の実践発表、グループ討議、松本健一先生（福井大学副学長）のご講演など、参加者の明日からの授業が
変わる研修会です。



（参加された方の声）
・今回4人のグループだったのでも人数でとても話しやすかったです。他の校種の先生方の話を聞くこともでき、興味深かったです。

新入會員歡迎研修會

新しく上伊那にお越しの先生方に、歓迎すると共に、他校の先生方と語り合う場を設けています。

〈参加された方の声〉



同じ立場の先生方とお話することができて嬉しかったです。先生方のお話から、それぞれの学校の様子をお聞きすることができてよかったです。

上伊那教育会 総研修会

『希望の日』5月21日(水)の午前中、伊那文化会館の大ホールで行います。昨年度は、植物誌の先生方の実践発表が好評で、夏の現地調査に加わる方も出てきました。



文学講演会

文学研究家の稲井正子さんのご講演。昨年度の演題は、「光る君と紫式部～美しい信州の源氏絵をみながら～」でした。

・広く大きな時の流れのようなものを感じました。日々の仕事、目の前のことに追われて生きていた毎日なので、思いがけずリフレッシュできたような気分になりました。



県外教育関係機関研修

県外の教育関係機関を郡内の先生方と一緒に訪問します。昨年度は、愛知県の稲川小学校の自由進度学習を参観しました。



・47年の歴史を思わせるダイナミックな、
つ大胆な活動の数々だった。明日から
すぐ取り入れるといったことは難しいか
もしれないが、緒川小の実践をもとに、
それぞれの学校の実情に合わせて取り
入れたらよいと思った。

上伊那教育会は、教員の資質向上や教員相互のつながりを大切に、さまざまな事業を進めています

各種委員会の活動

各種委員会では、他校の先生方と目的に向けて協働していくことで、世代を超えた仲間ができ、相互に学び合うことができます。

〈これらの委員会が活動しています〉
・野党議員連合 ・・・ 経産省連合

- | | |
|---|------------|
| ・音字研究 | ・記号・漢語 |
| ・人語研究 | ・人語研究 |
| ・音韻研究 | ・語彙研究 |
| ・上伊都朗歌編集 | ・上伊都文集 |
| ・カリカマノ研究 | ・伊都研究 |
| ・国語 | ・読書感想文 |
| ・社会 | ・社会連合音楽会 |
| ・算数・数学 | ・科学の活用 |
| ・理科 | ・ギョウリノ品 |
| ・音楽 | ・自然研究 |
| ・図工・美術 | ・歴史研究 |
| ・体育・保健 | ・考古研究 |
| ・家庭・技術・家庭 | ・美術研究 |
| ・生活・外国語活動 | ・研究 |
| ・特別活動 | ・伊都第二研究 |
| ・特別支援活動 | ・会報 |
| ・総合・生活科 | ・ホームページ |
| ・健康教育 | ・グループウェア管理 |
| ・学校図書館教育 | ・未来館 |
| ・キャリア教育 | ・あり方 |
| <p>・専門委員会（自然・地理・野鳥・動物・歴史・文化・気象・美術・人文・歴史・考古・地理・民俗・美術・文学）</p> | |